

# 熊本・徳永直の会会報

第 4 号

熊本市東区4-40-1  
熊本大学教育学部  
中村青史碑室

## 第四回孟宗忌を盛大に

寒波の激しい今冬なのだが、徳永直文学碑の両脇に植えられた赤と白の梅は、着実に蕾をふくらませている。一九

七七(昭五二)二月十二

日、徳永直の長男

光一氏をはじめ、

多数の参会者も

迎えて除幕した

文学碑も五年の

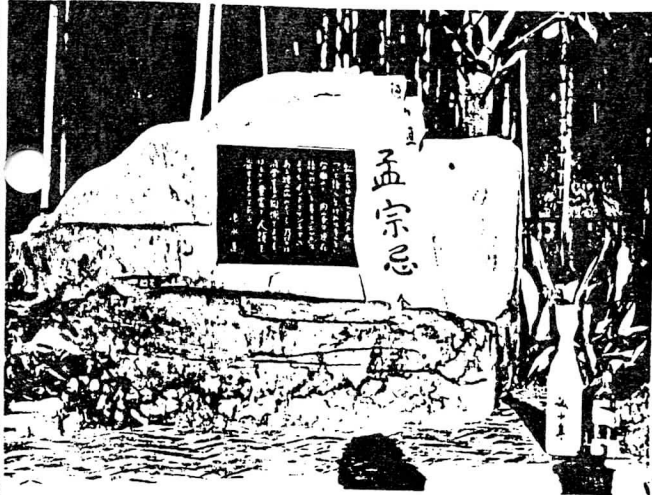
歳月を迎えよう

になり、徳永直の

命日を記念し、熊

本の、日本の、世界

の文化運動の拠点



に設けられた孟宗忌も四回目を迎えることになった。

作家徳永直の評価も再かよみかえりつゝある。熊本で発行

した短篇選集も品切れ、古書値も高くなった。熊本近代文学

研究会が出した『徳永直研究』という雑誌は三号で終わったが、

徳永直の研究は依然続行されるよし、卒業論文に選ぶ

学生も出てきている。中学校・小高・校でも徳永の作品を教

材にした実践加ぼつぼつ報告さかかっている。

立田山の麓にむかひと据えられた文学碑は、徳永直

のふるさとにおいて、彼の偉大な仕事を静かに深く語り

かけている。今年、一九八一年の二月十五日は日曜日である。

五年目を迎えるという区切りもよい、盛大に孟宗忌を完成

功させたものだ。それにしても、本会の中心人物、機関車高

光義明氏

が昨夏、

病気が倒

れられたに  
と心な痛  
事である。

二月十五日(日曜)

回直忌

4 永宗

第 孟

午後三時 文学碑前集合：献酒・献花・作品朗読

午後三時半 総会。「徳永直を偲ぶ」懇談会

場所 立田山麓徳永直文学碑前

会費 会員年間 千円

徳永直会費 五百円(参加自由)

徳永直さんと高芝義明さん

こんなテーマで会報も作りたかったのですわ、私(中野)にその時間はありませんでした。よ、というのも今高芝さんにはわかりおんぶが水こいたりのですわ、何をどうしたらいいか正直のヒトリわからなかったのです。体制を

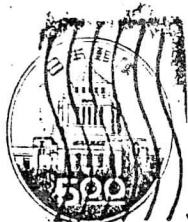
建て直し、ニハカ

とやらです。

(写真) 右高芝 左徳永



郵便はがき



富田市水道所  
北西角前 昭和フロント

高芝義明 君  
のま

徳永直

ハガキありがとう。  
とニハカ、このまえ田川君  
うかみえたとまじ、ふせ  
フといえようになんか力  
とシカタルかあ、あ、あ、  
先日福徳の具まから

孟宗忌の案内

二月十五日は日曜日  
です。寒いですが、  
今年家族連れでお  
出かけ下さい。  
午後三時から碑前  
で30分ほどの儀式を  
行ない、引き続き  
徳心会を催します。  
目玉に一杯出します。  
500円会費がかかります。  
道端ですの、気軽にお  
参加下さい。  
受付は二時半より。  
近くにテントを張り予定  
です。